

番町地区自主防災組織連合会 の活動について

1. 番町地区の概要と組織体制

•地区人口 3, 7 3 6 人
(男 1, 7 0 4 人 女 2, 0 3 2 人)

•地区世帯数 2, 4 0 2 世帯

•自主防災組織数 3 3 組織
(令和8年4月1日現在)

1. 番町地区の概要と組織体制

- **地区の特性**

松山市の中心市街地であり、官公庁、商店街、マンションが混在する都市型地区。

- **組織の内訳**

33の自主防災組織が結成されており、町内会（25）、マンション（3）、商店街（5）が協力体制を構築。

- **避難所**

指定一般避難所として「番町公民館」と「番町小学校」があり、水害時には上階への避難が推奨されている。

2. 「地域ぐるみの防災支援金」の活用実績

支援金を活用し、備蓄資器材の充実と習熟訓練を行っています。

- **令和5年度：衛生対策の強化**

内容：プラダントイレ（5セット）等の購入。

活動：役員への組み立て・使用方法の講習を実施し、避難所の衛生環境向上を図った。

- **令和6年度：初期対応の迅速化**

内容：段ボールトイレ（5セット）および衛生品の整備。

活動：既存の段ボールベッドと合わせた訓練を行い、避難所開設初期の円滑な運営体制を確認。

- **令和7年度：プライバシー確保と夜間対策**

内容：トイレ用目隠しテント（3台）、ソーラー充電式LED投光器（10セット）の整備。

活動：要配慮者のプライバシー保護と、夜間の屋外トイレ利用を想定した照明活用訓練を実施。

3. 防災力向上のための視察研修

- 事業名

令和7年度 歴史文化・防災力向上一日研修〔番町公民館共催事業〕

- 実施日

令和7年6月1日

- 場 所

高知県黒潮町（佐賀地区） ～黒潮町津波避難タワー見学～

- 成 果

国内最大級の津波想定がある同地区の「津波避難タワー」を見学。
現地の「防災かがりがま士の会」から、日常生活に根差した「生活
防災」の取り組みを学び、住民の防災意識を高めた。

3. 防災力向上のための視察研修

番町地区



令和 7 年 4 月 15 日
主催 番 町 公 民 館
共催 番町地区自主防災連合会
番町地区女性防火クラブ

歴史文化・防災力向上一日研修 四万十川遊覧と黒潮町津波避難タワー見学

本年度の番町公民館の一日研修は、高知県西南地域です。国内最大級の津波高が想定され町内に 6 基の津波避難タワーが作られている黒潮町を訪ね、避難タワー見学と地元防災組織の日常生活に根差した防災についてのお話。また、屋形船に乗り四万十川の自然や沈下橋を楽しみながらの昼食。バスの中では防災意識向上に関するレクチャー。有意義かつ楽しい初夏の一日をお過ごしいただければと思います。ご参加をお待ちしております。



- 《日 時》 **令和7年6月1日(日)**
《集合場所》 **午前7:00までに番町公民館（裏面参照）**
- 《行 先》 高知県黒潮町佐賀地区・四万十川方面（**行程は裏面**）
※津波避難タワーは 6 階建て相当の高さで、緩やかなスロープと階段が併設されていますが、エレベーターはありません。
- 《費 用》 一人 4,000 円＜当日集金、屋形船代・昼食（アユの塩焼き弁当）代含む＞
- 《参加資格》 番町地区内に居住されている方（小学生以上）
※小・中学生が参加する場合は、必ず保護者同伴でお願いします。
- 《締 切》 5 月 16 日（金）（35 名・申込多数の場合は家族単位で抽選）
※抽選となった場合は、抽選もれの方には、公民館からご連絡します。
- 《申 込 み》 下記の参加申込書を番町公民館まで提出してください（FAX 可）。
- 《問 合 せ》 番町公民館（TEL・FAX 945-0957）

-----切り取り線-----

令和7年度 番町地区歴史文化・防災力向上一日研修 参加申込書（提出日 月 日）

氏名（フリガナ）	年齢	住 所	連絡先（携帯）



3. 防災力向上のための視察研修

防災かかりがま士の会

黒潮町は「かかりがましい」という方言があり、「必要以上に世話焼き」「あせいかい」という意味を持ちます。しかし、防災には「かかりがましい」精神が必要との思いから、住民同士が助け合う防災の心と「かかりがましい防災」と表現し、自治地域の防災を推進しています。

以前より地域防災推進サポーターの視察対応を地区恒例の活動として行われていましたが、令和2年(2020年)1月に西あま有志グループ「防災かかりがま士の会」が正式発足しました。

このメンバーは、地震津波防災の進めるモチベーションが、必ずしも、必ずしも前向き、「自分たちの命は自分で守る、行政ばかりに頼らずとも自分たちで守ることは自分たちでやる」という意識が、地域内の戸がけなど様々な防災活動を地区で日々行っており、地区防災計画編成の新しい形として防災ワーキングへ取り組んでいます。

その年度の総勢は、見学者からの共感する声が多く、数年前より、防災かかりがま士の会の活動は、防災地域の所定能力を外部に開くようになったりしています。

防災かかりがま士の会による、客入等の活動収益は、タワーの維持管理や前高は、防災活動の費用に充てられています。

発行元

(一社) 黒潮町観光ネットワーク

〒799-1011 高知県黒潮町黒潮367-5

TEL:0883-43-025 FAX:0883-43-527

E-mail: kuroshio-net@kuroshio-net.jp

協力：黒潮町・京都大学防災研究所

防災研修プログラムの概要



最大津波想定 34mの町
黒潮町が育む防災文化

あきらめない!

全国最大級の津波想定により建設された
国内最大級の津波避難タワー



高知県 黒潮町

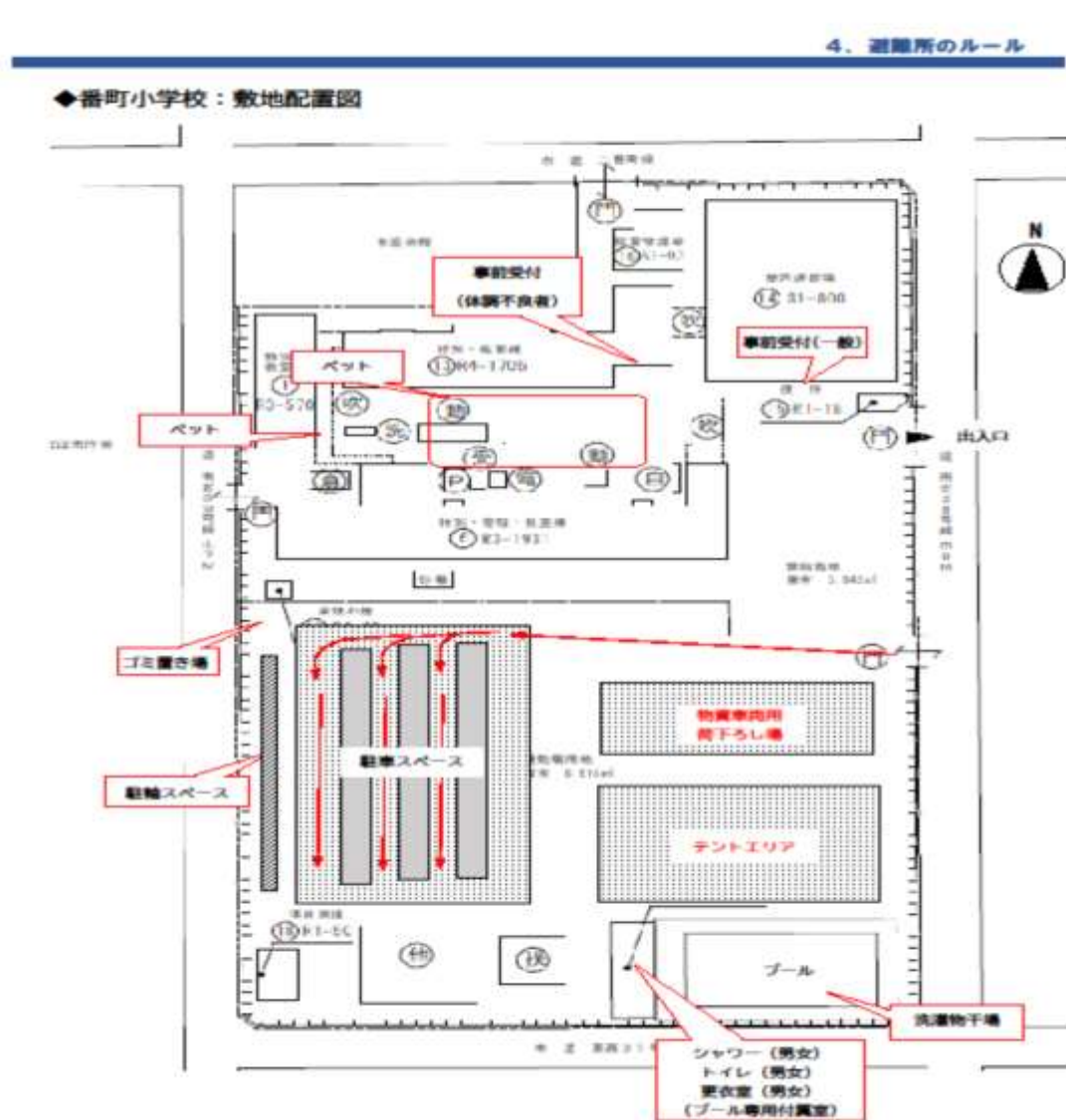
KUROSHIO TOWN, KAGOSHIMA

4. 実践的訓練：リアルHUG（避難所運営ゲーム）

防災士フォローアッププログラムの一環で、番町小学校を会場に訓練が実施されました。

- 実施：令和8年1月18日
- 場所：番町公民館で座学の後、番町小学校体育館で実施。
- 内容：市内の防災士約30名が参加。図面上のゲームではなく、実際に体育館の仕切り、仮設トイレの設営などを行った。
- 訓練の特徴【暗闇演出の効果】
訓練中に徐々にカーテンを閉め、夜間の停電状況を模擬体験。「暗くなって一気に緊張が増した」という参加者の声もあり、夜間運営の困難さと迅速な初動の重要性を再認識しました。

4. 実践的訓練：リアルHUG（避難所運営ゲーム）



4. 実践的訓練：リアルHUG（避難所運営ゲーム）



事前学習



簡易トイレの設営

4. 実践的訓練：リアルHUG（避難所運営ゲーム）



居住区域の区割り



運営の役割分担

4. 実践的訓練：リアルHUG（避難所運営ゲーム）



受付の様子



暗闇でのAEDによる心肺蘇生

5. 今後の展望と課題

- 共助の基盤づくりについて

オートロックマンションの増加や、近所づきあいの希薄化に伴い、地区社会福祉協議会など地区団体とも連携を強化し、地区住民同士の「顔の見える関係」を維持し、「誰一人取り残さない」体制づくりを推進し、災害時の助け合いに繋げて行きたい。